

ルックルック!

NEWS
R2.12月号

虹の季節
「うらにし」のおかげで
虹がよく出ます。



間人漁港

「NPO法人気張る!ふるさと丹後町」が全国の優良事例として表彰!

丹後町でスマホアプリを使ったささえ合い交通やデマンドバスを運行されている「NPO法人気張る!ふるさと丹後町」が、地域活性化の優良事例として表彰されました。

この表彰は、総務省及び全国過疎地域自立促進連盟が毎年行っている全国表彰で、今年度は総務大臣賞として5事例、全国過疎地域自立促進連盟会長賞(以下、連盟会長賞とします。)として4事例が選出されました。

同NPOは「スマホアプリで交通を支え合う国内初の取組!住民タクシーが過疎地に笑顔運ぶ」として連盟会長賞を受賞され、11月27日に東京で開催された表彰式で賞状が授与されました。



表彰状を手にするNPO法人気張る!ふるさと丹後町の東恒好さん

トレーニングが趣味の地域づくり支援員吉岡秀真が「丹後町らしい」体操を紹介するコーナー!

たんご健康体操

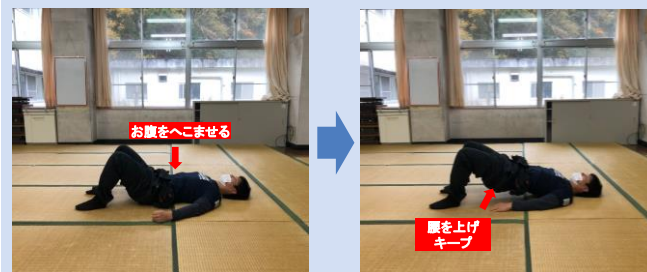
第8回「コタツムリの型 其の巻」

こたつが欠かせない時期になりました。こたつからなかなか出られない状態を俗語で「コタツムリ」と言うそうです。今回は、そんなコタツムリでもできる体操です!

この体操では腹部を中心にシェイプアップ効果が得られます。10回3セットを目標に行ってください。少ない回数でも効果はありますので、チャレンジしてみてください。

お正月太り対策として生活の中に運動を取り入れてみましょう!

(地域づくり支援員 吉岡秀真)



【ポイント】腰を上げる時も下げる時もゆっくり行ってください!

- ① 仰向けの姿勢で寝転びます
 - ② 息を吐きながらお腹をへこませ、その状態をキープします
 - ③ ゆっくり腰を上げ、1~2秒キープします
 - ④ ゆっくり下ろします
- ※②の状態を保ったまま、③→④を繰り返します

掲載団体や話題を大募集!

スポーツ、文化芸術、サークル活動など、皆さんに広く知ってほしいニュースがある団体や個人を募集します。掲載を希望される方は、丹後市民局までご連絡をお願いします。

【連絡先】京丹後市市長公室丹後市民局(Tel0772-69-0714)

※誌面の都合上、全ての希望に沿うことはできません。ご了承ください。

丹後町の人口

	R2.10月末前月比	
0~14歳	432	△2
15~64歳	2,373	△4
65歳~	2,158	△8
計	4,963	△14



←丹後市民局NEWSバックナンバーはこちら

丹後町な人

Tango 地域 news



今回の丹後町な人は、大東貢生（おおとう けいせい）さんです。大東さんは佛教大学社会学部の准教授で、現在、同大学のグローバル人材PBL授業の一環で、学生9人と一緒に豊栄で活動されています。PBL授業はプロジェクトベースドラニングの略で課題解決型学習と訳されています。佛教大のPBL授業は豊栄地域の課題を発見し解決策を検討・提案することを通じて学ぶという内容になっています。

丹後町な人

大東貢生さん

11月14日（土）、豊栄地域の資源の掘り起こしを目的に、豊栄まちづくり委員会と佛教大学グローバル人材PBL（生徒9人、教員1名）によるフィールドワークが行われました。

3つの班に分かれ、Eバイク（スボタイプ）の電動アシスト付き自転車（電動アシスト付き）で、農業体験やシーグラスの採取を行ったほか、丹後ちりめんや農作物を使った商品づくりの検討も行われました。

終了後参加者からは、地域にはまだ気づいていない魅力があると感じた。逆に学生に地域の魅力を教えていただいた、地域の良さを再発見できた。といった声が聞かれました。



余っている柿をドライフルーツにして活用。試作品を大学のゼミで試食し商品づくりにつなげていく予定

昨年度は豊栄地域において若い人々の雇用の場がなく地域外に流出してしまうという課題を解決するために、地場産業である丹後ちりめんの端切れを利用して小物を作成し、インターネット等で販売することを提案され、2月には地域の方と実際に小物作成を行うワークショップを開催されました。2年目の動きを検討していた矢先に新型コロナウイルスの感染が拡大し、今年の学生達は豊栄に足を運べていませんでしたが、11月に行われた豊栄地区文化祭に合わせて初めて訪れ、地域の方とフィールドワークを実施されました。※前頁参照

大東さんに豊栄地域に入られた当時のことについて伺うと、私自身も1年目で課題はありましたが、豊栄まちづくり委員会のメンバーに入れた事は良かったです。地元の方々の実直な意見を聞ける場、伝えられる場があることはありがたかったです。と大東さん。今後の活動については、地域の皆さんが自分たちの地域をどう変えていきたいの



令和元年度に行った丹後ちりめん着物ファッションショー



旧豊栄小学校をスタートし、矢畑から遠下方面へ。山、海、川を感じ、移住者をはじめ人々の暮らしに触れた

か、その課題は何かを知り、解決策を学生なりに地域の方々と一緒に考えていきたいです。お互いに相乗効果が生まれれば良いなと思っています。と話してくれました。

豊栄地域では、まちづくりセミナー「豊栄のみかた」が昨年度から3回開催され、区長や団体の代表の方々だけでなく、豊栄地区をなんとかしたい、地域を活気づけたいと思っている人達が集まり、男女、年齢関係なく意見を出し合い、話し合いが行われています。第4回目となる12月13日には大東さんに講演をしていただく予定とのこと。どんなお話になるかと伺うと、私の元々の専攻はジェンダー論で、ジェンダー論とは社会的な男の役割、女の役割という意味なんです。が、昨今は社会的役割と性別は関係ない環境になりつつあります。地域づくりでも同じで、年齢や性別関係なく1人1人が主役であることが求められますが、まだまだその環境に慣れない人達が多いです。まずはその意識を変えていただければ、地元の皆さんが自分たちの地域をどう変えていきたいの

性別や年齢に関係なく、地域の人と同じ立場で考えていかないと良い地域にはならないと思いますし、私自身とても興味があります。大東さん、大学の授業で忙しい中、貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。

（地域おこし協力隊 大木 史帆）

丹後町な場所

三宅橋付近の景色



オフラインで地域資源の掘り起こし／佛大生と豊栄で

コロナ禍での地域づくり

豊栄地域では12月13日（日）にみんなが主役 豊栄の地域づくり」と題した佛教大学大東准教授の講演会 第4回豊栄のみかた」が、宇川地域では12月19日（土）に住民参加型ワークショップ第2回宇川つながるミーティング」が開催されます。

いずれも昨年度から継続して開催されるものですが、ICT（情報通信技術）を活用してライブ配信やオンラインでの参加を可能としており、コロナ禍を逆手に出身者や地域外の関係者など多くの方に参画していただけるよう企画されています。



コロナ禍を逆手に！オンラインでより広い参画を求める

中山市長との懇談会

11月30日（月）に、丹後町区長連絡協議会による中山市長との懇談会が行われました。人口減少、高齢化、買い物支援対策など、市内で最も深刻なのは丹後町ではないかとの認識のもと、市長と意見交換を行いました。

市長は新型コロナウイルス感染症対策と共に観光振興施策の重要性や、若者に対する職場の確保の大切さ、ふるさと納税による財源の確保などを中心にお話を述べました。

参加区長からは、移住定住対策は最も大切な課題。教育を通じ小さい頃から市の長所を認識させ、住み続けたいと思えるような取組を行ってほしい。との意見が出されていました。



市長と丹後町区長連絡協議会の懇談会の様子